



## 2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月30日

上場会社名 株式会社ファンケル 上場取引所 東  
 コード番号 4921 URL <https://www.fancl.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長執行役員CEO (氏名)島田 和幸  
 (役職名)取締役上席執行役員CFO (氏名)石神 幸宏 (TEL)045-226-1200  
 問合せ先責任者 経営企画本部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	98,716	5.8	12,472	17.0	12,610	18.9	8,662	18.9
2019年3月期第3四半期	93,316	14.4	10,664	51.6	10,604	47.5	7,285	50.5

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 8,632百万円 (18.2%) 2019年3月期第3四半期 7,300百万円 (50.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	72.17	71.55
2019年3月期第3四半期	57.22	56.53

(注) 2018年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」および「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第3四半期	92,352	65,869	70.3
2019年3月期	80,307	60,916	74.8

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 64,927百万円 2019年3月期 60,050百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	30.00	—	15.00	—
2020年3月期	—	17.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2018年12月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は、「—」として記載しております。

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

通期	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	131,000	6.9	15,000	21.1	15,100	22.3	10,200	17.9	85.03

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

（注）「1株当たり当期純利益」の計算には、実態により近づけるため、期末発行済株式数から期末自己株式数を差し引いた株式数を使用しております。

#### ※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2020年3月期3Q	130,353,200株	2019年3月期	130,353,200株	
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	10,278,576株	2019年3月期	10,395,292株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	120,033,867株	2019年3月期3Q	127,314,857株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の売上高は、国内売上、インバウンドともに堅調に推移し、主力の化粧品関連事業、栄養補助食品関連事業が増収となり、全体では98,716百万円(前年同期比5.8%増)となりました。営業利益は、マーケティング費用を前年同期に対し増加させたものの、増収効果による売上総利益の増加により、12,472百万円(前年同期比17.0%増)となりました。経常利益は12,610百万円(前年同期比18.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は8,662百万円(前年同期比18.9%増)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 化粧品関連事業

## 売上高

化粧品関連事業の売上高は、58,635百万円(前年同期比8.4%増)となりました。

	2019年3月期 前第3四半期連結累計期間		2020年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
ファンケル化粧品	42,708	78.9	46,956	80.1	9.9
アテニア化粧品	8,806	16.3	9,748	16.6	10.7
boscia(ボウシャ)	2,052	3.8	1,329	2.3	△ 35.2
その他	542	1.0	601	1.0	11.0
合計	54,108	100.0	58,635	100.0	8.4

	2019年3月期 前第3四半期連結累計期間		2020年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	20,849	38.5	22,366	38.1	7.3
店舗販売	21,567	39.9	23,553	40.2	9.2
卸販売他	5,850	10.8	7,366	12.6	25.9
海外	5,841	10.8	5,349	9.1	△ 8.4
合計	54,108	100.0	58,635	100.0	8.4

**ファンケル化粧品**は、「マイルドクレンジング オイル」などの主力製品の好調に加え、新発売した「ディーブクリア 洗顔パウダー」や、「ビューティブローケ」などの寄与により、46,956百万円(前年同期比9.9%増)となりました。

**アテニア化粧品**は、基礎スキンケア製品やリニューアル新発売した「スキんクリア クレンジング オイル」が好調で、9,748百万円(前年同期比10.7%増)となりました。

**boscia(ボウシャ)**は、米国や欧州・中近東の新規進出先は好調だったものの、米国の主要卸先への売上が振るわず、1,329百万円(前年同期比35.2%減)となりました。

**販売チャネル別**では、通信販売は22,366百万円(前年同期比7.3%増)、店舗販売は23,553百万円(前年同期比9.2%増)、卸販売他は7,366百万円(前年同期比25.9%増)、海外は5,349百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

## 営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加などにより、営業利益は10,005百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

## ② 栄養補助食品関連事業

## 売上高

栄養補助食品関連事業の売上高は、34,841百万円(前年同期比2.9%増)となりました。

	2019年3月期 前第3四半期連結累計期間		2020年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
通信販売	11,044	32.6	11,946	34.3	8.2
店舗販売	10,897	32.2	10,192	29.3	△ 6.5
卸販売他	9,988	29.5	10,575	30.3	5.9
海外	1,925	5.7	2,125	6.1	10.4
合計	33,855	100.0	34,841	100.0	2.9

**製品面**では、機能性表示食品「内脂サポート」や「尿酸サポート」などが好調に推移し、増収となりました。

**販売チャネル別**では、通信販売は11,946百万円(前年同期比8.2%増)、店舗販売は10,192百万円(前年同期比6.5%減)、卸販売他は10,575百万円(前年同期比5.9%増)、海外は2,125百万円(前年同期比10.4%増)となりました。

## 営業損益

損益面では、増収効果による売上総利益の増加などにより、営業利益は3,883百万円(前年同期比11.8%増)となりました。

## ③ その他関連事業

## 売上高

その他関連事業の売上高は、5,239百万円(前年同期比2.1%減)となりました。

	2019年3月期 前第3四半期連結累計期間		2020年3月期 当第3四半期連結累計期間		伸び率 (%)
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	
発芽米	1,563	1,529	1,529	1,529	△ 2.2
青汁	1,998	1,840	1,840	1,840	△ 7.9
その他	1,790	1,868	1,868	1,868	4.4
合計	5,352	5,239	5,239	5,239	△ 2.1

## 営業損益

損益面では、発芽米事業、青汁事業の収益性の改善などにより、営業利益は83百万円(前年同期は174百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度末に比べて12,045百万円増加し、92,352百万円となりました。この要因は、流動資産の増加9,176百万円および固定資産の増加2,869百万円であります。流動資産の増加の主な要因は、現金及び預金の増加8,065百万円、受取手形及び売掛金の増加729百万円であります。固定資産の増加の主な要因は、有形固定資産の増加3,296百万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べて7,093百万円増加し、26,483百万円となりました。この要因は、流動負債の減少3,134百万円と固定負債の増加10,227百万円であります。流動負債の減少の主な要因は、未払法人税等の減少1,700百万円と、未払金の減少などによる流動負債「その他」の減少1,132百万円であります。固定負債の増加の主な要因は、転換社債型新株予約権付社債の増加10,212百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4,952百万円増加し、65,869百万円となりました。この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加8,662百万円と、配当金の支払いによる利益剰余金の減少3,840百万円であります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末から4.5ポイント低下し、70.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の業績予想につきましては、2019年4月25日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,635	26,700
受取手形及び売掛金	15,580	16,310
商品及び製品	5,244	5,479
仕掛品	26	-
原材料及び貯蔵品	6,185	6,099
その他	1,189	1,455
貸倒引当金	△171	△179
流動資産合計	46,689	55,865
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,082	28,614
減価償却累計額及び減損損失累計額	△16,321	△16,842
建物及び構築物(純額)	11,760	11,771
機械装置及び運搬具	9,467	9,911
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,421	△7,640
機械装置及び運搬具(純額)	2,045	2,271
工具、器具及び備品	8,800	8,905
減価償却累計額及び減損損失累計額	△7,384	△7,445
工具、器具及び備品(純額)	1,416	1,460
土地	11,839	11,839
リース資産	256	297
減価償却累計額及び減損損失累計額	△106	△126
リース資産(純額)	150	170
建設仮勘定	314	3,309
有形固定資産合計	27,526	30,822
無形固定資産		
その他	2,229	2,203
無形固定資産合計	2,229	2,203
投資その他の資産		
投資有価証券	176	176
その他	3,685	3,283
投資その他の資産合計	3,862	3,460
固定資産合計	33,617	36,487
資産合計	80,307	92,352

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,253	3,490
未払法人税等	3,600	1,899
賞与引当金	1,512	740
ポイント引当金	1,676	1,907
資産除去債務	-	3
その他	7,909	6,776
流動負債合計	17,951	14,817
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	-	10,212
退職給付に係る負債	738	701
資産除去債務	412	429
役員賞与引当金	64	115
その他	222	207
固定負債合計	1,438	11,666
負債合計	19,390	26,483
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,795	10,795
資本剰余金	11,706	11,706
利益剰余金	58,902	63,573
自己株式	△21,160	△20,922
株主資本合計	60,243	65,151
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	67	36
退職給付に係る調整累計額	△261	△259
その他の包括利益累計額合計	△193	△223
新株予約権	866	941
純資産合計	60,916	65,869
負債純資産合計	80,307	92,352



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	93,316	98,716
売上原価	26,823	28,091
売上総利益	66,493	70,625
販売費及び一般管理費	55,828	58,152
営業利益	10,664	12,472
営業外収益		
受取利息	2	39
受取配当金	0	0
受取賃貸料	68	36
受取保険金	-	46
雑収入	84	88
営業外収益合計	156	210
営業外費用		
固定資産賃貸費用	26	9
為替差損	1	1
支払補償費	166	-
社債発行費	-	44
雑損失	21	17
営業外費用合計	216	73
経常利益	10,604	12,610
特別利益		
固定資産売却益	299	0
新株予約権戻入益	1	-
退職給付制度移行益	-	36
特別利益合計	300	36
特別損失		
固定資産売却損	-	1
固定資産除却損	199	15
減損損失	12	11
店舗閉鎖損失	42	71
その他	8	2
特別損失合計	263	102
税金等調整前四半期純利益	10,641	12,544
法人税、住民税及び事業税	3,128	3,470
法人税等調整額	228	410
法人税等合計	3,356	3,881
四半期純利益	7,285	8,662
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,285	8,662

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	7,285	8,662
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8	△31
退職給付に係る調整額	7	1
その他の包括利益合計	15	△30
四半期包括利益	7,300	8,632
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,300	8,632
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	54,108	33,855	5,352	93,316	—	93,316
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	54,108	33,855	5,352	93,316	—	93,316
セグメント利益又は損失(△)	8,889	3,471	△174	12,187	△1,522	10,664

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益又は損失の調整額△1,522百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化粧品 関連事業	栄養 補助食品 関連事業	その他 関連事業 (注) 1			
売上高						
外部顧客への売上高	58,635	34,841	5,239	98,716	—	98,716
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	58,635	34,841	5,239	98,716	—	98,716
セグメント利益	10,005	3,883	83	13,971	△1,498	12,472

(注) 1 「その他関連事業」は、雑貨、装身具類、肌着類、発芽米、青汁等で構成されております。

2 セグメント利益の調整額△1,498百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、その主なものは、報告セグメントに帰属しない親会社本社の総務部門等に係る費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。